

自動車整備・カーボディマスター科(3年次) 自動車整備・トータルマスター科 (3年次)			2024年度 授業計画		
時 期	3年後期	単 元	実 習	教科名	車両制作 板金
科 目	車わく及び車体の整備	教科書等 持参品	日産車体整備士 1～4級テキスト 日産塗装士 1～4級テキスト		発行日 2024年3月11日
総時限	81時限				教科 担当
必須時限	74時限				上谷 晃一 濱村 和樹
1. 指導教員の実務経験					
車体整備士として自動車板金、塗装全般の実務経験がある教員により板金全般の工具の取り扱い、損傷部分の修正について指導					
2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)					
・熱硬化性樹脂の種類と部品制作工程を理解する ・F R P での部品制作を理解する ・カスタムボデーを作成する中でB P 技術を理解する					
3. 授業の到達目標 (何を理解し何が出来ようになるのか)					
・F R P の特性を理解する ・主剤と硬化剤の特長を理解する ・ガラス繊維の特長を理解する ・補修部品成形作業を理解する ・バンパー、パテ成形を理解する ・上塗り作業手順を理解する ・バンパーの磨き方を理解する ・カスタム車両を製作しながら板金、塗装手順を理解する					
4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)					
・総合実習レポート作成 ・授業態度 ・以上2項目にて判定します。					
5. 準備学習					
・過去 2 年間で学んだ自動車整備の基礎知識全般を復習しておくこと					

自動車整備・カーボディマスター科(3年次)

自動車整備・トータルマスター科(3年次)

2024年度 授業計画

時 期	3年後期	単元	実習	教科名	車両制作 板金		
5. 授業概要 (時限ごとの主な授業内容)					6. 教科書、資料、備品類		
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量	
1	車両保護マスキング						
2	"						
3	"				・ノコ刃、サフォーム、ペーパー		
4	"						
5	マスキング・テープでのマスキング				・エアガン		
6	"						
7	"				・パテツシュ、中間パテ		
8	"				・パテヘラ		
9	アルミ泊によるマスキング						
10	"				・アルミ泊、離型ワックス		
11	"						
12	"				・ガラス・マット		
13	発泡ウレタン用型枠作り				・樹脂ノンパラ、硬化剤		
14	"						
15	ダンボールでの形作り						
16	"				・樹脂塗布専用ローラー		
17	発泡ウレタンの調合(主剤と硬化剤の配合)						
18	型枠への発泡ウレタンの流し込み						
19	"						
20	指触乾燥確認						
21	"						
22	"				・タガネ		
23	"						
24	型枠の外し方				・木ハンマー		
25	"				・影タガネ		
26	成形車両の寸法測定				・スプーン		
27	"				・溶殖機		
28	レーザーを使った車両中心だし				・スライド・ハンマー		
29	"				・パテ類		
30	左右対称寸法確認				・パテツシュ		
31	"				・パテヘラ		
32	発泡ウレタンの荒削り				・ラッカーシンナー		
33	"				・ウエス		
34	左右対称寸法確認						
35	"						
36	発泡ウレタン成形作業						
37	"						
38	発泡ウレタンの離型前処理作業						
39	"						
40	パテ付け						
41	"						
42	"						

自動車整備・カーボディマスター科(3年次)

自動車整備・トータルマスター科(3年次) 2024年度 授業計画

時 期	3年後期	単元	実習	教科名	車両制作 板金		
5. 授業概要 (時限ごとの主な授業内容)					6. 教科書、資料、備品類		
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量	
43	アルミ泊はり、離型ワックス塗布						
44	〃						
45	ガラスマットの採寸及び裁断						
46	ガラスマット貼り付け順序確認と貼り付け						
47	樹脂の調合確認と注意事項						
48	〃						
49	樹脂の塗布						
50	〃						
51	樹脂の泡抜きと指触乾燥確認						
52	〃						
53	離型作業						
54	エアーを使った方法						
55	タガネを使った方法						
56	完成品の確認と清掃						
57	〃						
58	アルミ泊はりとワックス塗布						
59	〃						
60	ガラスマットの採寸、ガラスマット裁断						
61	ガラスマット貼り付け順序確認と貼り付け						
62	〃						
63	FRP樹脂の塗布、指触乾燥確認						
64	離型作業						
65	〃						
66	製品の確認						
67	〃						
68	清掃作業						
69	製品の足付け						
70	製品へのパテ付け面だし						
71	〃						
72	〃						
73	〃						
74	〃						
75	〃						
76	〃						
77	車体との仮合わせ。チリの確認						
78	パテ付けパテ研ぎ。						
79	〃						
80	〃						
81	レポート作成						